

コード	501041004
記入日	H26.10.31

課コード	124
課名	学校教育課
課長名	濱崎 健也
担当者	江口 幸男

新規事業評価表【事前評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	中学校施設非構造部材等耐震化事業
----------	------------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	501	施策名称	学校教育の充実	項コード	3
基本事業コード	50104	基本事業名称	教育環境の整備	目コード	1
事務事業コード	5010410	事務事業名称	中学校施設整備事業費	細目コード	983
関連計画		法令・条例規則等	地震防災対策特別措置法		

計画 (PLAN)

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標
(対象1) 町立中学校6校の生徒・教職員及び地域住民 (対象2)	(対象指標1) 21,175人 (H26.11.1現在) (対象指標2)
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標
・学校施設の非構造部材の耐震化を早急に図り、施設の安全性を高め、児童・教職員、地域住民等の施設利用者の安全を確保する。 →屋内運動場の吊り天井等非構造部材の耐震化・落下防止対策：2施設 ①上五島中学校武道場・卓球場 ②北魚目中学校武道場 →バスケットゴール及び照明等の落下防止対策：6施設 ①全中学校の屋内運動場吊り下げ型バスケットゴール及びその他の非構造部材(スピーカー等)の耐震補強	(活動指標名称) (活動指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
	① 吊り天井の落下防止対策 2棟 平成31年度
② 吊り下げ型バスケットゴール等の落下防止対策 6棟 平成31年度	
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標
・中学校施設の非構造部材の耐震化を推進するため、老朽化が深刻な施設について計画的な改修や設備等の更新を行い建物の保全及び延命を図っていく。	(成果指標名称) (成果指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
	① 安全な教育環境の向上 - - 平成31年度
②	

実施 (DO)

	単位	全体計画		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度以降
		H 27 ~ H 31								
活動指標	① 棟	2			1	1				
	② 棟	6					2	2	2	
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	58,293		18,183	8,010	10,700	10,700	10,700		
直接事業費 A	千円	54,793		17,483	7,310	10,000	10,000	10,000		
人件費 B	千円	3,500		700	700	700	700	700		
内 従事職員数	人	0.5		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
訳 人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の財源内訳	国補助金	千円	18,262		5,827	2,436	3,333	3,333	3,333	
	県補助金	千円								
	起債	千円	29,000		9,300	3,800	5,300	5,300	5,300	
	その他	千円								
一般財源	千円	11,031		3,056	1,774	2,067	2,067	2,067		

評価 (CHECK)

評価項目	内 容
・事業の緊急性・必要性はありますか。	平成25年8月に文部科学省より天井高6mまたは200m超の武道場体育館等については、平成27年度末までに非構造部材等の落下防止対策を完了するよう通知があり、これに基づき対象となる上五島中学校武道場と北魚目中学校武道場の吊り下げ型天井の落下防止対策を早急に実施する必要がある。また、これ以降り下げ型のバスケットゴールについても耐震化対策を計画的に行う必要がある。
・事業の対象・目的は適切ですか。	児童生徒の学校施設における安心・安全を確保するための事業であり、適切である。
・町が税金を投入して行う必要がありますか。	教育環境づくりは、町の責務であり必要である。
・事業を行わない場合の影響はありますか。	学校施設内での児童・生徒の安全を確保するための事業であり、危機管理の観点からも早急に実施する必要がある。
・事業費を削減できませんか。(費用対効果)	必要最小限の設計であるため削減できない。
・受益者負担は適正ですか。	受益者負担はない。
・類似事業との整理統合はできませんか。	類似事業はない。

2次評価	学校施設の構造体に加え、非構造部材の耐震化を図ることは、生徒、教職員、地域住民の安全を確保するために重要であり、早急な対応が必要である。事業費が多額であることから国の補助制度等の動向や情報収集に努め経費の削減に努め、必要最小限の経費で施設を効率的に活用できるよう調整していくこと。
-------------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

事業の方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>計画どおりに事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実施期間を見直して事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を減額して事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合して実施する</td> </tr> </tbody> </table>	1次	2次	3次		●	●		計画どおりに事業を実施する				事業内容を見直して事業を実施する				実施期間を見直して事業を実施する				事業費を減額して事業を実施する				類似事業と整理統合して実施する	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>次年度以降に計画どおり実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>次年度以降に計画を見直して実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>次年度以降に類似事業と整理統合して実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>当分の間は実施しない</td> </tr> </tbody> </table>	1次	2次	3次					次年度以降に計画どおり実施する				次年度以降に計画を見直して実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する				当分の間は実施しない
	1次	2次	3次																																											
	●	●		計画どおりに事業を実施する																																										
				事業内容を見直して事業を実施する																																										
				実施期間を見直して事業を実施する																																										
				事業費を減額して事業を実施する																																										
			類似事業と整理統合して実施する																																											
1次	2次	3次																																												
			次年度以降に計画どおり実施する																																											
			次年度以降に計画を見直して実施する																																											
			次年度以降に類似事業と整理統合して実施する																																											
			当分の間は実施しない																																											

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。